

事業報告書 (HP 公開用)

【デートDV それって、ホントに「恋愛」かな?】

日時	平成 30 年 5 月 25 日 (金) 16 : 20~17 : 50
対象	沖縄女子短期大学 学生 (2 年生)
講師	垣花 みち子氏 (公益財団法人おきなわ女性財団 常務理事)
会場	沖縄女子短期大学 大教室
参加数	170 名
講演内容 (概要)	<p>沖縄女子短期大学にて、2 年生を対象にデート DV の出前講座を行った。パワーポイント資料を使用した講演。最後には学生 2 名×3 組 (計 6 名) が「自分の気持ちを伝える、相手も自分も大切にするコミュニケーション」のロールプレイを実際に演じた。</p> <p>まず DV の種類、暴力以外にも精神的、性的、経済的な暴力があることを説明しその関係は力と支配によって行われることを話した。デート DV に関する法律はあるが、法は事件が起こってからしか動けないので 1 番大切なのは「予防」。被害にあわないようにするのではなく、加害をさせないようにすること。被害者に非はなく悪いのは加害者というのを強調した。今回は女性の学生が多かったので性感染症や妊娠のリスクについての話も詳しく行った。「自分らしい価値観をみつけ、お互いが尊重できる対等な素敵な関係を築いてください」また「もし友達から相談をうけたらまずは話を聴いてください」と呼びかけた。</p> <p>【資料項目】・DV とは ・交際相手からの暴力被害経験 ・暴力の種類 ・デート DV3 つのサイクル ・力と支配 ・暴力の容認 ・性別による偏見 ・デート DV に関する法律 DV 防止法 ・ストーカー規制法 ・リベンジポルノ被害防止法 ・忘れないでください! ・どうしたらいいの? ・被害者に落ち度はありません ・性感染症からのリスク ・対等な関係をつくるために ・自分らしさを大切にする ・自己肯定感、自尊感情をもつ ・相手を尊重する ・自分の気持ちを伝える ・もし相談されたら ・相談された時に言うてはいけないこと</p> <p>※相談窓口の冊子と DV の冊子等も配布</p>
参加者の声	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 番の予防が被害にあわないようにするのではなく、加害者にならないようにすることを頭に入れて相手と付き合っていくべきだと思います。 ・ とても分かりやすく、知らないこともあったのでとても勉強になりました。特に法律のことや相談窓口のことはほとんど知らなかったもので、これからの今日の講演会の内容を活かしていこうと思います。保育士として保護者と 1 人の人間として私の周りの人を少しでも助けられたらなと思います。 ・ DV をされている人が相談しにきたら、答えをだそうとはせずに聞いてあげるとい事が大切だということがわかり、DV をうけている人をせめるのではなく優しく受けとめていく事が大事だと感じました。 ・ 沖縄は性器クラミジア感染症が多いと聞いてびっくりしました。なんで沖縄は多いのだろうと思いました。1 人 1 人の意識が大切だと感じました。 ・ 「こんなこともデート DV に入るんだ」と意外と身近なこともデート DV に入ると知りました。もし、これから先、恋人が出来た時に、今日の講演を心に留め、被害者・加害者にならないように素敵な関係を築いていきたいです。また周りの人にデート DV の被害にあっている人がい

	<p>た場合、ているなどの相談センターを紹介してあげて、被害が大きくなるように対応していきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none">・デートDVだけでなく、日々の人間関係の相手を理解し受け入れることが大切だと感じました。今は交際相手がないので、あまりイメージできませんが、もしそのようなことに直面してしまったら、本日学んだことを思い出し行動していける様にしたいです。
主催	沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団